

タイトル「なごりのえいか」（表現⑥「みんなの前でお話をする・聞く」）

愛知連盟 三河葵地区 西尾第6団 ビーバー隊

集会日	令和2年8月30日（日）
集会場所	西尾第6団チャレンジ広場 ※別紙に駐車場への案内あり
集会時間	18時00分 ～ 19時00分
集会のねらい	隊としての活動は、この後も「稲刈り」「お月見」と続きますが、教育課程としてのビーバーでの活動は、ここで一区切りです。少し花火を楽しんだ後、小2のみなさんには「一年の中で頑張ったこと・楽しかったこと」をみんなの前で発表（澤が引き出します）していただき、小1以下の子には、人のお話を聞く・・・という体験から、話すこと・聞くことの大切さを学んでもらいます。
ミッションカード	生活②「あいさつをする」

活動内容： 名残の営火（小2：発表、小1以下：それに耳を傾ける）

ビーバーそつぎょうしき

打ち上げ花火

展開

○この日の日没は18:20。その想定の中で計画を立てたのですが、まだ空が明るすぎて、花火など大きく順番を入れ替えることになりました。

予定通り、小2の子からの発表と、そつぎょうしき、花火の打ち上げは実施することが出来ました。

評価・反省

空の明るさの想定を見誤り、実施順の大幅な入れ替えとなりました。手持ち花火が季節外れで入手できなかったことも想定外でした。蝉の鳴き声がうるさく、スカウトの発表が聞き取れなかったかと。。。その後は鳴き止みましたので、開始時刻を遅らせるべきと考えます。次年度以降に反映します。毎年思うことですが、小2の子らがちゃんと自分の言葉で想いを述べてくれる様子には感動します。（澤）

小学2年生で、来年の目標を立てたり、今年たのしかったことをしっかりみんなの前で言っていたので、素晴らしいと思います。また、コロナの影響で、打ち上げ花火だけになってしまったので、来年は手持ち花火が出来るといいなと思いました。（高山）

参加者

スカウト 15/16名

兄弟姉妹 2名

体験 0名 ※児童計17名

その他

※ランタンは、お月見でも使いましょう！

◆次回：9/5（土）午後 稲刈り挑戦

9/20（日）午前 カブ隊集会（小2）9/26（土）夜 お月見9/27（日）夜 育成総会（保護者会）

<当日スナップ>



ことしは「3密」を避けるために隊ごとでの営火となりました。

他隊の様子を少しご紹介します。

＜小学2年秋～5年秋 カブスカウト隊＞



＜小5秋～中3秋 ボーイスカウト隊＞



＜ボーイスカウト部門での最高位である菊スカウト章の授章式＞

地区役員から、スカウトとその保護者に、進級証書、進級章、記念品が渡されます。



＜中3秋～高3

ベンチャースカウト部門＞

隊長と向かい合い、
隊の旗に手をかざし、
自身の「ちかい」を確認して、
上進です。



「ちかい」と「おきて」など、ボーイスカウトの教育について
日本連盟 HP（ <https://www.scout.or.jp/about/> ）より

もちろん、ビーバーの年代の子らに以下の「ちかい」や「おきて」の話をしても「???」となるだけです。ですが、普段の隊での活動やミッションカードなどを通して、この「ちかい」や「おきて」の実践につながっていくエッセンスを身につけられればと考えております。

ボーイスカウトの教育が他の青少年団体と異なるところは、そのプログラムにあります。それは、「ちかい」と「おきて」の実践、班制教育、進歩制度、野外活動を取り入れていることです。

ボーイスカウトの教育では、どのようなときにも、どのような場でも、すべての活動が「ちかい」と「おきて」の実践を基盤において行われています。「ちかい」は、自分自身に対して誓うものであり、また、スカウトの「おきて」は毎日の生活のものさしとして自分の行動を律するものです。

－ちかい－

- 私は名誉にかけて
次の三条の実行を
ちかいます
- 一、神（仏）と国とに
誠を尽くしおきてを
守ります
- 一、いつも他の人々を
たすけます
- 一、からだを強くし
心をすこやかに
徳を養います

－おきて－

- 1 スカウトは
誠実である
- 2 スカウトは
友情にあつい
- 3 スカウトは
礼儀正しい
- 4 スカウトは
親切である
- 5 スカウトは
快活である
- 6 スカウトは
質素である
- 7 スカウトは
勇敢である
- 8 スカウトは
感謝の心をもつ